

中間答申（案）について

中間報告書からの主な変更点

本書のタイトルを「札幌市緑の基本計画」から「札幌市みどりの基本計画」に変える。

「協働による取組みの指針（活動事例をもとに）」と「計画の進行管理」の順番を入れ替え、「はじめに」から「計画の進行管理」までを〈本編〉、「協働による取組みの指針」を〈活用編〉とする。

推進プログラムの柱 1 の中にあった「みどりに関する協働の考え方」について、「計画の体系」の中で整理する。（8 ページ）

「みどりの将来像の実現に向けた目標」について、具体的に目標の項目を提示するとともに、4 つの将来像に向けた目標の前に、総量目標を示す。（12～13 ページ）

4 つの将来像に向けた目標の項目には、みどりの量と質に関する項目を掲げる。

（12～13 ページ）

目標の項目にかかわる市街化区域や市街化調整区域などを補足する図を追加する。

（13 ページ）

計画の体系図において、みどりの将来像の「私たちが守り・はぐくむみどり」と推進プログラムの柱 1 の協働にかかわるラインについては、他の三つを包括するものの、自立した一つの柱であることから、枠を追加する。（14 ページ）

各プログラムの指標について変更する。

計画の進行管理の中で、目標との関連を明確にする。（42 ページ）

「協働による取組みの指針」の最後に「制度・支援メニュー一覧表」を追加し、それぞれのメニューの窓口、問い合わせ先、ホームページアドレスなどを掲載する。

（79～84 ページ）

「協働による取組みの指針」の取組みごとに制度・支援メニューをまとめ、「制度支援メニュー一覧表」のページを入れるなど、活用しやすい表記になるように修正する。

目標の現況値、目標値について

目標の項目に現況値がないものが多いことから、これらの項目について、市民意識調査や現況値の整理などを行う必要がある。平成 22 年度早々に、目標にかかる調査、整理などを事務局が実施し、その結果をもとに審議会で目標値について審議する。